

令和2年度 事業報告書

自 令和 2. 4. 1
至 令和 3. 3. 31

I 総会、理事会等の開催

1 総 会

開催年月日	開催場所	内 容
2. 6. 30	埼玉県民健康センター 1階大会議室A・B (さいたま市)	議 事 1 令和元年度事業報告及び収支決算 2 公益社団法人埼玉県弘済会役員の選任 報告事項 1 令和2年度予算の概要 2 弘済会への加入状況 3 年金特別会計の令和元年度決算及び互助年金の加入状況

2 理事会

開催年月日	開催場所	内 容
2. 5. 29	書面による決議 (新型コロナウイルス感染 拡大防止のため)	1 通常総会招集の決定 2 令和元年度事業報告及び収支決算 3 役員の選任
2. 6. 30	県民健康センター 1階 AB会議室	1 会長、副会長及び常務理事の選定
2. 12. 25	書面による決議 (新型コロナウイルス感染 拡大防止のため)	1 令和3年度予算編成方針(案) 2 互助年金事業に関する基本協定の延長
3. 3. 25	県民健康センター 1階 AB会議室	1 令和2年度補正予算(案) 2 令和3年度事業計画(案) 3 令和3年度収支予算(案) 4 令和3年度(第13回)会員間交流地域巡り事業の幹事支部

3 三役等連絡会議

開催年月日	開催場所	内 容
2. 4. 24	建設会館3階 会議室	理事会及び総会提出議案
2. 11. 17	別所沼会館2階 会議室	理事会提出議案
3. 3. 19	建設会館3階 会議室	理事会提出議案

II 公益事業

1 地域社会活動事業

各支部において、河川の美化活動、道路の清掃活動、公園の美化活動、城山地区等での森林整備、遊休農地を活用した「エゴマ・ニンニク」づくり、「ホタルの里」の環境美化活動、県営公園花壇の植栽管理などのボランティア活動や公開講座の開催等の事業を実施した。

2 宅地建物取引士資格試験受託事業

宅地建物取引士資格試験は、昭和63年度に(一財)不動産適正取引推進機構から委託を受けて開始し、令和2年度で33回目を迎えた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前例にないことであるが、10月・12月の2回実施した。当該試験に係る受験申込書の受付・審査及び試験を適切に実施した。

また、平成25年3月に埼玉県宅地建物取引業協会及び全日不動産協会埼玉県本部と締結した「監督員等の要員確保に係る協力協定書」により、令和2年度は、両協会関係者155人(10月)・41人(12月)が監督員等として従事した。

(1) 実施委員会の開催

6月 22日	試験会場・試験事務の実施体制について
8月 27日	試験人員配置等について
9月 25日	試験事務の実施方法等について
9月 30日	同 上
10月 5日	同 上
11月 17日	同 上
令和3年 3月 25日	試験の実施結果について

(2) 試験案内書の配布

7月1日から7月31日まで、県庁・県土整備事務所・建築安全センター・埼玉県東京事務所・くまざわ書店・須原屋・リブロ等の主要書店、宅建関係2団体の本部・支部等122ヵ所で約30,000部を配布した。

(3) 受験申込の受付

ア 受付期間	インターネット受付	7月 1日～7月15日
	郵送受付	7月 1日～7月31日
イ 受付事務従事者数	インターネット受付	事務局で対応
	郵送受付	延べ 65人
ウ 受験申込者数	インターネット受付	5,802人
	郵送受付	11,815人
	合計	17,617人 (令和元年度 19,326人)

(4) 試験の実施及び結果

ア 試験監督員説明会

9月25日	ソニックシティ	参加者	133人
9月30日	熊谷市文化創造館	参加者	109人
10月 5日	ウェスタ川越	参加者	54人
10月10日	ソニックシティ	参加者	63人
12月13日	ソニックシティ	参加者	18人

イ 試験実施日	10月18日
	12月27日

ウ 試 験	会 場
11会場 (10月)	〔東京国際大第2キャンパス・聖学院大学・栄東高等学校・浦和麗明高等学校 埼玉大学・武南高等学校・山村国際高等学校・秋草学園短期大学 県立春日部高等学校・埼玉スーパーアリーナ・熊谷スポーツ文化公園体育館〕
7会場 (12月)	〔東京国際大第2キャンパス・聖学院大学・埼玉大学・県民活動総合センター 山村国際高等学校・JA共済埼玉ビル・ソニックシティ〕

エ 試験事務従事者数	10月	1,067人
	12月	494人
オ 受 験 者 数	10月	9,875人 (受験率 84.7%)
	12月	3,653人 (受験率 62.9%)
カ 合 格 者 数	10月	2,020人 (合格率 20.5%)
	12月	374人 (合格率 10.2%)

3 社会奉仕活動への参加

10月1日から行われている赤い羽根共同募金に、県内3駅頭で21人の会員が参加して、募金活動を行った。

Ⅲ 福利厚生事業

1 広報・情報提供事業

(1) 機関誌の発行

「弘済会だより第42号」を準備していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の休止や2回の宅建試験による事務増加により、令和2年度は発行を見送った。

(編集委員会議:R2.8/11)

(2) 退職予定者説明会

新型コロナウイルス感染症対策・感染拡大防止のため説明会は中止となった。

令和3年3月末退職者へ送付する資料に入会申込書等を同封してもらった。

2 生活支援事業

(1) 互助年金事業

令和3年3月末現在の加入者数は27人で、拠出金総額2億2千万円である。

(2) 一般相談事業

年金・相続等の相談件数は26件であった。

(3) デパート等の割引利用の契約を更新した。

3 生涯学習の支援事業

市内の歴史建築をめぐるふるさと再発見や、地域の歴史を学ぶ講演会、野菜栽培講習会、地元出身で津軽三味線世界大会優勝者による津軽三味線独演会などの生涯学習事業を実施した。

4 会員相互の交流事業

(1) 第20回弘済会会員文化創作展

令和3年2月10日(水)～2月16日(火)で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策・感染拡大防止のため中止となった。

(2) 趣味同好会事業等

会員の親睦を図るため、ゴルフ、パークゴルフ、グランドゴルフ、旅行を各支部で実施した。

(3) 第13回会員間交流地域巡り事業

新型コロナウイルス感染症対策・感染拡大防止のため中止。

(4) 第6回女性会員優先交流事業の実施

新型コロナウイルス感染症対策・感染拡大防止のため中止。

5 その他の事業

(1) 慶祝記念品の贈呈

米寿(47人)及び喜寿(54人)を迎えられた会員に慶祝記念品を贈呈した。

(2) 地域支援事業(地域ボランティア事業)への寄附

公益法人移行に伴い、地域ボランティア事業の拡充を図るため、会員の皆様へ協力をお願いしてきた。

令和2年度、宅建試験事務主任等67人から1,038千円が3月末までに集まった。